

しもかどクリニックで透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としない。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	下門清志（しもかどクリニック・理事長）
研究機関長名	下門清志（しもかどクリニック・理事長）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活の生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ばかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しまかどクリニック(下門清志) 2. しまかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>しまかどクリニック・下門清志(しまかどクリニック・理事長): 〒655-0892 神戸市垂水区平磯4丁目3-21 フェニックスK 1階</p> <p>[電話](平日9時~17時) 078-704-5201</p>

しもかど腎透析クリニックで透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としません。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	下門清志（しもかど腎透析クリニック・理事長）
研究機関長名	下門清志（しもかど腎透析クリニック・理事長）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ほかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>しもかど腎透析クリニック・下門清志(しもかど腎透析クリニック・理事長): 〒655-0017 神戸市垂水区上高丸1丁目8-16 春美ビル</p> <p>[電話](平日9時~17時) 078-709-7900</p>

東京綾瀬腎クリニックで透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としない。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	長田 しをり（東京綾瀬腎クリニック・院長）
研究機関長名	長田 しをり（東京綾瀬腎クリニック・院長）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活の生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ばかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ[電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>東京綾瀬腎クリニック・長田 しをり(東京綾瀬腎クリニック・院長): 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-8-2 ハイネスアヤセ II 2F</p> <p>[電話](平日9時~17時) 03-5680-6888</p>

さがみ循環器クリニックで透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としない。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	原田愛永（リハビリテーション科・理学療法士）
研究機関長名	吉田 煦（さがみ循環器クリニック・理事長）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ばかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>さがみ循環器クリニック・原田愛永(リハビリテーション科・理学療法士): 〒252-0312 神奈川県相模原市南区相南 4-21-15</p> <p>[電話](平日9時~17時) 042-746-2211</p>

三上クリニックで透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としません。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	三上 貴子（三上クリニック・理事・医師）
研究機関長名	三上 由紀子（三上クリニック・院長・医師）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活の生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ばかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>三上クリニック・三上 由紀子(三上クリニック・院長・医師):</p> <p>〒536-0002 大阪府大阪市城東区今福東3丁目13-20</p> <p>[電話](平日9時~17時) 06-6933-3121</p>

三上クリニック 第二分院で透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としない。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	金子 哲也（三上クリニック 第二分院・院長）
研究機関長名	金子 哲也（三上クリニック 第二分院・院長）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ばかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当クリニックにて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>三上クリニック 第二分院・金子 哲也(三上クリニック 第二分院・院長): 〒660-0055 兵庫県尼崎市稲葉元町 2-18-12 ルイシャトービル 1F [電話](平日9時~17時) 06-6416-8811</p>

蒼生病院で透析治療を行われている患者さまへ

当クリニックで実施しております以下の研究についてお知らせいたします。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。研究実施許可日以降に通院される患者さんで研究対象となる方には、直接以下の研究内容について説明のうえで、研究参加に同意いただけない場合には研究対象としない。いずれの場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討 [兵庫医科大学倫理審査受付番号：第 4785 号]
研究代表者	松沢良太（兵庫医科大学リハビリテーション学部・講師）
当施設の研究責任者	寺井 真人（リハビリテーション科・科長）
研究機関長名	本田雄一（蒼生病院・院長・医師）
本研究の目的・意義	透析を行っている患者様の高齢化、生活習慣病を含む多くのご病気を抱えておられる方が増加しております。そのため、患者様のご自身で身のまわり動作、買い物や家事といった生活動作を実施できない方が増えております。しかし、透析患者様の寿命や日常生活の送りやすさに関わる要因は未だ明らかになっていません。本研究の目的は透析患者様の寿命や日常生活の生活動作に関わる要因を検証することとしております。
研究期間	2024年8月23日～2029年12月31日
研究の方法	○対象となる患者さま：2000年4月1日～2029年3月31日の期間に当院で少なくとも3か月以上血液透析を実施されている18歳以上の患者さま ○利用させて頂く情報：下記の通常診療で取得した情報 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート その他（ ） 調査項目（通常診療として取得されている場合に収集する）： 1．患者背景：年齢、性別、体格、透析導入日、透析導入の原疾患、合併症、透析関連指標（透析頻度、透析時間、透析方法、ダイアライザーの種類、透析量、血流量、透析前後体重、ドライウェイトなど）、血液データ（白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、MCV、MCH、MCHC、血小板数、血液像骨髓球、血液像後骨髓球、血液像好中球、杆状核球、分節核球、血液像好酸球、血液像好塩基球、血液像リンパ球、血液像単球、血液像異型リンパ球、AST、ALT、ALP、コリンエステラーゼ、GT、LD、CK、アミラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、間接ビリルビン、総蛋白、アルブミン、A/G比、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、LDL/HDL、動脈硬化指数、尿素窒素、尿酸、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、無機燐、マグネシウム、血清鉄、総鉄結合能、不飽和鉄結合能、鉄飽和度、CRP、血糖など）介護度、家族情報、転倒歴、心・血管エコー指標（LVEF、E/E'など）、末梢循環指標（ABI、TBI、SPPなど）、骨関連情報（骨密度など）、転倒・骨折リスク、服薬内容、治療に対するアドヒアランス（透析治療のすっ

血液透析患者における生命・身体機能の長期予後に関連する因子の検討

	<p>ほかし、透析間の体重増含量・率など)、治療経過・内容</p> <p>2. 身体・認知機能: 歩行能力、筋力、立位バランス能力、認知機能、フレイル(ストレスに対する脆弱性)/サルコペニア(加齢性の骨格筋量減少を主体とする疾患)/カヘキシア(悪液質)関連指標、身体活動度</p> <p>3. 筋・栄養状態: CT、バイオインピーダンス法(体内に微弱な電流を流し、電流の流れやすさ [電気抵抗=インピーダンス]の程度を計測し筋肉量や体脂肪率を推定する方法)およびエコーでの推定筋量・筋質、上腕・下腿周囲径、食事摂取状況、protein energy wasting(体たんぱく[骨格筋・血液中のたんぱく質]やエネルギー源[体脂肪]の貯蔵量が減少して引き起こされる低栄養状態)</p> <p>4. Quality of life: 睡眠の質、うつ症状、SF-36(QOLを評価するための国際的質問紙)日常生活活動度</p> <p>5. イベント: 外傷の有無、有害事象の有無(内容、入院期間など)、死亡の有無などの追跡できる全ての有害事象</p> <p>上記の収集項目を用いて、寿命や日常生活の送りやすさに関連する要因について検証します。</p>
<p>情報利用者</p>	<p>当院にて診療に関わっている及び本研究に関わっている者</p>
<p>外部への情報の提供</p>	<p>各共同研究機関の研究責任者および研究分担者には特定の個人を識別出来ないよう加工されたデータファイルが提供されます。データの提供方法については、データファイルを暗号化したうえで、セキュリティロック機能付きのUSBおよびアクセス制限をかけたセキュリティ機能付きのオンラインストレージあるいは暗号化通信によるインターネット経由で行われます。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>収集データは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。他の研究機関との共同研究に診療情報を使用させて頂く際にも、同様に注意を払います。</p>
<p>研究組織</p>	<p>研究代表機関(研究代表者): 兵庫医科大学(松沢良太)</p> <p>共同研究機関(研究責任者): 1. しもかどクリニック(下門清志) 2. しもかど腎透析クリニック(下門清志) 3. 東京綾瀬腎クリニック(長田しをり) 4. さがみ循環器クリニック(原田愛永) 5. 三上クリニック(三上貴子) 6. 三上クリニック 第二分院(金子哲也) 7. 蒼生病院(寺井真人) 8. 国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター(鈴木裕太) 9. 北里大学大学院医療系研究科(松永篤彦) 10. 東京医療学院大学(渡邊孝明) 11. 筑波大学(吉越駿) 12. 金沢医科大学(松永祐輔) 13. 日本医療大学(山部早智) 14. 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(松本麻衣)</p> <p>なお、共同研究機関の1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. から患者さまの情報を収集し、研究代表機関、共同研究機関4. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. にてデータ解析を行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>蒼生病院・本田雄一(院長・医師):</p> <p>〒571-0023 大阪府門真市大字横地 596</p> <p>[電話](平日9時~17時) 072-885-1711</p>